

## 三沢市立三沢病院 外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 長内 長也

8 月 18 日から 9 月 12 日までの 4 週間、三沢市立三沢病院で外科実習をさせていただきました。夏休み明け最初の実習だったため、不安もありましたが、気づけばあっという間に 4 週間が過ぎていました。ほぼ毎日手術があり、手術室で過ごす時間は集中しているうちに一日が終わることが多く、「今日も一日頑張ったな」と感じられる充実した日々でした。

三沢病院の外科では、実際に多くの手技を経験させていただきました。糸結び、真皮埋没縫合、皮下縫合、カメラ持ち、鉤引き、抜鉤、ドレーン抜去などの基本的手技に加え、メスや電気メスを用いた開腹操作や前立ち、動脈血採血など、他の病院ではなかなか経験できない貴重な機会もありました。実際に自分の手で糸結びや縫合を行ってみると、先生方の手技がいかに洗練され、無駄のない動きで構成されているかを実感しました。日頃の練習や基礎技術の重要性を改めて感じるとともに、確かな技術を身につけることの難しさと奥深さを学びました。また、カメラ持ちや鉤引きなど、一見地味に見える役割も、手術を円滑に進めるうえで非常に重要であることを痛感しました。良好な視野を保つことが、術者の動きを支え、手術全体の流れを大きく左右することを身をもって理解しました。鉤引きをしている際には、先生方が毎回筋鉤などを適切にセットしてくださりましたが、将来自分が研修医になった際には、手術の展開を考えながら自分で最適なセッティングができるようになりたいと思いました。

今回の実習では、研修医の先生が不在で人手が少なかったこともあり、ほぼ全ての手術に参加させていただきました。チームの一員として参加できることにやりがいを感じると同時に、「自分も早く先生方の力になれるようになりたい」と強く思いました。大学を卒業すれば、研修医とはいえ一人の医師として責任を持って診療にあたる立場になります。今回の実習で学んだ技術や姿勢、そして反省点を今後の実習・卒後研修にしっかりと活かしていきたいと思います。

最後になりますが、外科の池永先生、米内山先生、梅村先生、甲地先生をはじめ、他科の先生方、そして三沢病院の皆様には、大変お世話になりました。貴重で有意義な実習を経験させていただき、心より感謝申し上げます。



実習期間：2025.8.18～2025.9.12